

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察注意報について（送付）
このことについて、第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

平成19年度病害虫発生予察注意報第1号

平成19年7月27日
熊本県病害虫防除所長

農作物名 水稻
病害虫名 コブノメイガ

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生時期 7月下旬以降
- 3 発生程度 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 7月24日の県内水稻ほ場における調査では、53ほ場中46ほ場で発生が認められ（発生ほ場率 86.8%）、平年の発生ほ場率43.4%より多かった（表1、2）。また、被害度は31.0（平年 4.6）、被害株率は44.0%（平年 8.3%）と被害程度も平年より高かった（表1、2）。
- (2) 7月24日の農研センター内水稻ほ場（合志市、普通期、無防除田）における調査では、被害株率が100%であった。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 現在発生している幼虫の生育ステージ等から、本年は7月1半旬～2半旬にかけて断続的に飛来していたと思われる。有効積算温度による次世代成虫発生期は、7月1～10日を起算日とすると8月1～9日と予測される（図）。
- (2) 防除適期は、粒剤では発蛾最盛期、粉剤及び液剤では発蛾最盛期より1週間後である。本年は次世代成虫発生期間が長くなると予想されるので、ほ場での発生状況に留意して防除を行う。
- (3) 薬剤散布にあたっては使用基準を遵守し、周辺環境等へ飛散の無いよう十分注意する。

表1 コブノメイガ発生状況調査（7月24日、1ほ場50株調査）

地域	地点	被害度	被害株率	被害度	被害株率
熊本	秋津1	6.0	18.0%	29.0	38.9%
	秋津2	7.3	16.0%		
	画図1	0.7	2.0%		
	画図2	1.3	4.0%		
	川口1	100.0	100.0%		
	川口2	15.3	38.0%		
宇城	川口3	72.0	94.0%	2.0	4.8%
	宇土1	0.0	0.0%		
	宇土2	2.0	6.0%		
	城南1	8.7	18.0%		
	城南2	0.7	2.0%		
	富合1	3.3	8.0%		
	富合2	0.7	2.0%		
	松橋1	0.7	2.0%		
玉名	松橋2	0.0	0.0%	61.6	79.0%
	玉名1	64.0	84.0%		
	玉名2	71.3	90.0%		
	和水1	74.0	92.0%		
	和水2	70.0	88.0%		
	横島1	8.7	24.0%		
鹿本	横島2	81.3	96.0%	30.1	45.8%
	鹿央1	0.0	0.0%		
	鹿央2	39.3	56.0%		
	鹿央3	28.0	52.0%		
	鹿央4	64.0	84.0%		
	菊鹿1	47.3	60.0%		
	菊鹿2	26.7	46.0%		
	山鹿1	32.0	46.0%		
	山鹿2	44.0	80.0%		
	山鹿3	19.3	34.0%		
菊池	山鹿4	0.0	0.0%	34.4	53.3%
	大津1	16.0	32.0%		
	大津2	72.7	96.0%		
	菊池1	5.3	14.0%		
	菊池2	40.7	70.0%		
	七城1	49.3	64.0%		
上益城	七城2	22.7	44.0%	18.5	30.2%
	嘉島1	2.7	8.0%		
	嘉島2	0.0	0.0%		
	甲佐1	48.0	84.0%		
	甲佐2	70.7	90.0%		
	甲佐3	0.0	0.0%		
	甲佐4	20.7	40.0%		
	御船1	7.3	16.0%		
	御船2	0.0	0.0%		
御船3	17.3	34.0%			
八代	鏡1	76.0	88.0%	54.4	71.1%
	鏡2	25.3	48.0%		
	鏡3	40.0	72.0%		
	氷川1	30.0	66.0%		
	氷川2	9.3	24.0%		
	氷川3	100.0	100.0%		
	氷川4	100.0	100.0%		
平均		31.0	44.0%		

被害度について

A：被害葉1～2枚/株

B： " 3～4枚/株

C： " 5枚以上/株



$$\frac{(3A+2B+C) * 100}{50 * 3}$$

とした。

表2 過去のコブノメイガ発生状況（7月中～下旬、巡回調査）

	被害度	被害株率
H14	0.4	1.1%
H15	15.5	24.2%
H16	1.1	3.3%
H17	0.8	1.8%
H18	5.1	11.0%
平年値	4.6	8.3%

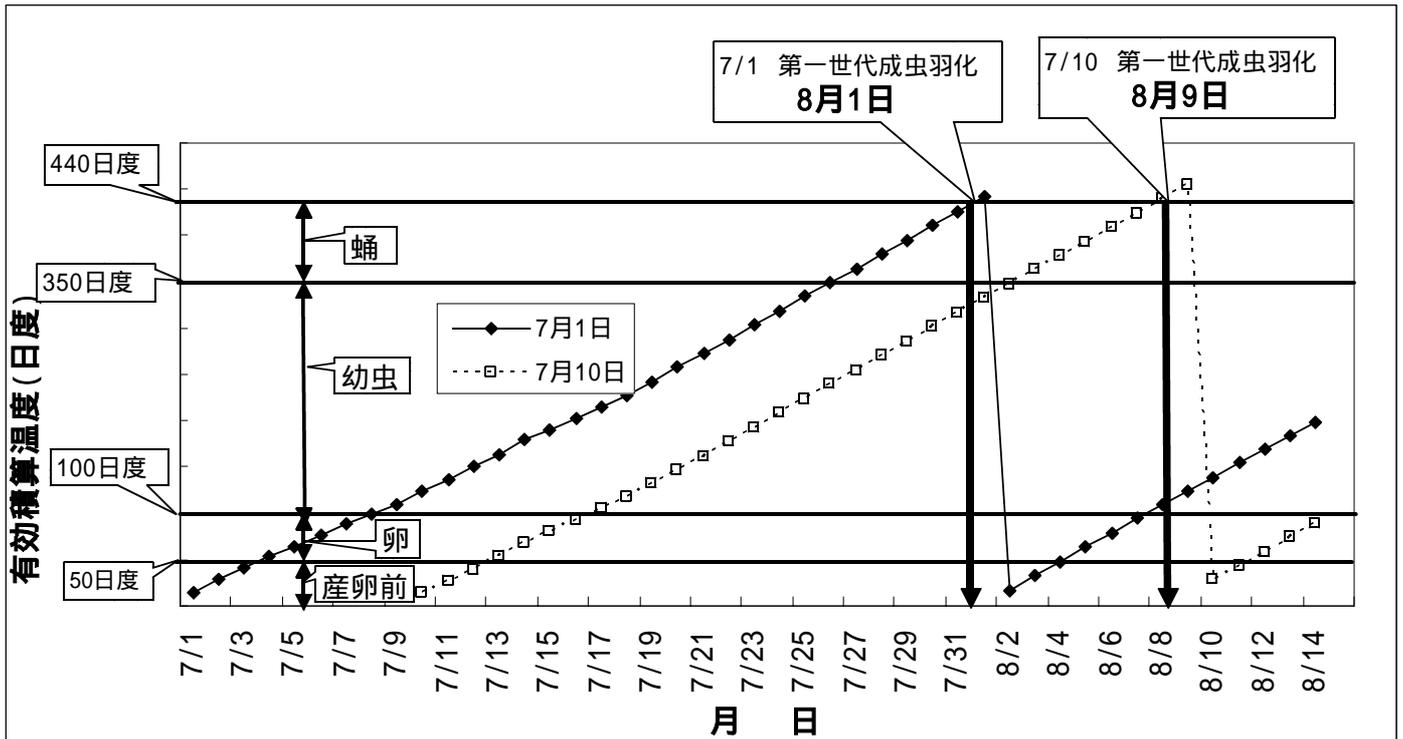


図 次世代成虫発蛾最盛日予測（アメダスデータ、地点：熊本を使用）